

2026年4月17日
商工中金

**BCP 対策に取り組む株式会社アンテックスに対し、
災害対応型コミットメントラインを締結**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の松戸支店は、株式会社アンテックス（本社：東京都港区、代表者：安藤 洋平）に対し、災害対応型コミットメントライン（※）6億円を開設しました。

同社は、建設機械などに用いられる大型旋回ベアリングを製造しています。茨城県の主力工場において、設計、鍛造、機械加工、組立までを自社で一貫して手掛けており、油圧ショベル用旋回ベアリングを主力に、国内外で高いシェアを有しています。

今回同社は、日本各地で相次ぐ自然災害発生時の BCP 対策のため、大規模自然災害の発生等が金融機関の貸付不能事由になりうる一般的なコミットメントラインではなく、地震等の大規模自然災害発生時にも安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、大規模自然災害発生時においても販売先の要望に迅速かつ柔軟な対応ができるよう、円滑な資金調達手段を確保することで事業の継続性を高め、ステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、財務上の強みや課題を共有。油圧ショベル用旋回ベアリング分野で高いシェアを有する同社が、災害時にも取引先から安定供給が求められることを確認し、同社の BCP 対策の一環として、有事の災害に備え、災害発生時にも安定して資金調達が可能な災害対応型コミットメントラインを開設しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、関係機関等と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【災害対応型コミットメントライン契約(※)の概要】

コミット総額	6億円
契約締結日	2026年3月16日
コミット期間	2026年3月16日 ～ 2027年3月10日（更新OP4回）
特徴	茨城県下の震度観測点において、震度6弱以上が観測された地震発生時にも、 コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づく迅速な資金調達が 可能。

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【株式会社アンテックスの概要】

所在地	東京都港区高輪 2-15-19 高輪明光ビル 4階	資本金	5,000 万円
代表者	安藤 洋平	従業員数	293 名 (2026 年 3 月時点)
業種	旋回ベアリングの製造	創業	1917 年 8 月

(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。